

# 糠内学園通信



2023. 7. 21 No. 2

\*糠内学園：糠内中学校・糠内小学校・明倫小学校

## 『乗り入れ授業』の様子

6月27日～29日 糠内中学校

今年度は、糠内小6年生5名と明倫小6年生3名が糠内中へ朝から登校し生活しました。国語、算数、理科、社会、英語の学習指導を1日1時間行いました。他にも全校での体育・音楽・集会の授業も行いました。初めは緊張していた児童ですが、中学校の生活を想像しながら、中学校の先生の指導や雰囲気新鮮さを感じて、一生懸命、授業を受けていました。

### 児童の感想(糠内小)

- 算数では、これまで知らなかった円の面積を求める方法を学んで、デジタルをよく使った授業がわかりやすかったです。円の図形を求める式を使っていろんな問題を早く求めることができました。
- 社会では、高橋先生の話や例え方が面白かったです。縄文時代や弥生時代のことを勉強した時みんながわかりやすいことに例えてくれるのでよく理解しやすかったです。
- 理科では、顕微鏡で微生物を見たり、食物連鎖などの勉強をしながら楽しく授業ができました。楽しかったけれど食べる食べられる関係もよくわかりました。
- 英語は、「かき氷」などわからなかった単語を覚えられてよかったです。みんなの発表を聞いて、まだまだ知らない日本の文化があったのでもっと調べてみようと思いました。
- 全校で行った授業の体育は、中学生のリアルベースボールがものすごく上手かったし、音楽も「大切なもの」を歌うときにきれいな声でさらに大きな声で歌っているのがすごいなと思いました。私も中学生のようになりたいと思いました。全校集会もとても楽しかったです。



普段とは違った中学校の先生の授業に触れ、授業の雰囲気を知ることができました。

### 児童の感想(明倫小)

- わたしはとくに理科の微生物を見ることや社会が楽しかった。本物の微生物を見ることは初めてだったから、宝探しのように楽しかった。社会は先生がおもしろいし、絵の中から何をしている人がいるかを見つけるのがおもしろかった。はじめは緊張していたけどみんなと話しているうちに緊張はほぐれた。でも少し疲れた。12月にはもっとみんなと話したい。
- 糠内小学校の人たちともたくさん話ができて楽しかった。中学生とも体育、音楽、全校集会と一緒に授業ができてうれしかった。中学校がどんなところが少しわかって、中学校に行くのが楽しみになった。
- ぼくは、全校集会が心に残っています。その中でも絵しりとりが楽しかったです。なかなかわからなくて難しかったけど、みんなですきたので楽しかったです。

### 6年担任の感想

初日は少し緊張気味の子どもたちでしたが、すぐに明倫小の子たちとも中学校の先生とも打ち解け、中学校での学校生活を満喫している姿がいろんな場面でみられました。教科ごとにちがう先生が毎時間やってくる新鮮さ。なにより専門的な知識を知ることができるわくわくを感じているようでした。

私自身も中学校の先生方の授業を拝見できる貴重な時間となりました。特に、話術や授業の進め方、資料の準備がすばらしいくらいへん勉強になりました。

12月に2回目の乗り入れ授業が予定されていますが、子どもたちは今からとても楽しみにしているようです。(糠内小 國木)

どの子も1日目、2日目は緊張が見られ、3日目には疲労の色がみえていました。しかし、一日中共に生活をする中で、糠内小学校の未来の同級生たちとの親睦は日に日に深まっていました。また、中学校の先生たちにも、優しく接していただき、すべての授業を楽しんでいました。(明倫小 竹内)



### 中学校の先生の感想

乗り入れの感想としては、やっぱり準備にそれなりに時間がかかるなぁと感じました。今回は歴史分野の最初ということ、女子が多いということでもかなり丁寧に準備しました。(ここの部分でつまずいて面白くないと感じさせてしまうと以降の部分でかなりのマイナスになってしまうため。) 昨年より部活動のぶん放課後に時間があるとはいえ、日常の授業(主担当教科、道徳、総合)や担任業務、行事や委員会活動の準備に関しては、昨年よりも一人あたりの負担が増えているので、いわゆる空き時間だけでは間に合わなかったのが厳しいと感じるところもあります。教科としては、社会科はほぼ同じ内容を中学校でも行うのでアプローチを変えるだけですが、この後の小学校の先生が困らないように配慮するのがちょっと面倒だったかなと感じます。授業をやってみて、中学校の勉強の土台(基礎)になっているのを改めて感じたので、得意・不得意に関わらず、小学校の先生方には国語や算数と同じくらいの熱量をもって研鑽をしていただいで日々の授業をしていただきたいなと思います。子どもたちは、それぞれ協力したりコミュニケーションをとったりしながら授業に積極的に取り組む様子がみられたのでよい集団だなと感じました。

(社会科担当 高橋)

授業開きのアイスブレイクで、一人一人が笑顔で自己開示でき、温かく落ち着いた雰囲気の中で授業を進めることができました。8人とも好奇心旺盛で授業者の私も楽しい気分に関わることができました。

- 電卓を使っていい問題であっても、勇旺さんと美空さんは筆算にこだわりコツコツと取り組んでいた姿から真面目さが伝わってきました。特に勇旺さんは、最後に答えが出た時に「スッキリした！」と言っていたすがすがしい表情が印象的でした。
- 玖音さんと愛矢さんは、毎回積極的に発言してくれて、場を盛り上げてくれました。
- 萌果さんは、推し活の話が止まらなくなり、周りに止められるいつもの素の自分を出してくれて、場をゆかいにしてくれました。
- 愛実さんは、数学が得意なのか誰よりも先に解くことができ、みんなの前でiPadを使って説明、解説することができました。
- 麻央さんは、わからない時に一人で悩まずに「わからないから教えてください」と自らサインを出せたことから素直さが伝わってきました。
- 優花さんは、毎回丸付けにくると「お願いします」「ありがとうございました」と丁寧に自分を気持ちを伝えてくれて、礼儀正しさが伝わりました。

(数学科担当 北岡)

# 全校総合『地域を創る』 プレゼンテーション発表会

7月5日 糠内中学校

全校で取り組む地域学習「地域を創る」は、今年度よりスタートし、プレゼンテーション発表会を迎えるまでに事例視察を含めて4月から7月の3か月間を費やし、取り組んできました。

目的の一つは、異学年でチームを構成してより多様な意見を交えて合意形成を得る経験を積むこと。その経験を積むことで課題を解決する力と創造する力を身につけ、チームで新しいものを創り出す楽しさと生まれ育った糠内への郷土愛を育むことがねらいで、将来的には、糠内学園として小学校高学年～中学生まで合同の学園総合のようなことも視野に入れて検討しています。最終的には、9年間系統立てて「地域を創る」を糠内学園の「総合的な学習の時間」の柱にしていけるよう取り組んでいます。



中学生のプレゼン発表会に糠内学園の児童が参観しました。他にも報道陣、生徒たちが事例視察でお世話になった北海道パートナーズとかちの方々も参観しました。

- ◆参観した児童の感想◆
- 糠内をよくするために「まくべつチャーム」という帯広の人たちにも知ってもらえる建物を考えたのは良い案だと思いました。
- 地場産業は、糠内で人が集まるところのパークゴルフに注目したり、カフェテリアをつくって地産地消をするのを考えていてすごいなと思いました。
- 子育ては、バスを使って高校に行けるのはいいし、プレミアムパスポートや3000円商品券もいいと思いました。
- 子育てでは、ママカフェや親子サロンなど、親と子の両方の視点で考えていていいなと思いました。
- 幕別町にファミリーサポートがあるのを知れてよかった。
- 直接会って話すのではなく、SNSで相談できるのはいいなと思った。

# 『諸鈍小中学校との交流』 オンライン

-CS事業- 7月11日 糠内中学校

この日の5校時に行われた交流会では、北国と南国の異文化をお互いに感じとることができる良い機会となりました。

最初に行われた自己紹介では、まだ照れくささが感じられる場面もありました。ただ、次の諸鈍中の三味線演奏あたりからエンジン全開となり、両校の緊張は完全にほぐれ、会話が弾みました。映像の中では、鮮やかな海も紹介され、まるで心地良い音楽を南国の地で聞いているような気持ちにさせられました。

続いて糠内中からは十勝クイズが出題されました。特に幕別町のマスコットを問う問題では、パオくんの存在が奄美地方の子どもたちにとっては新鮮であったようです。いずれにせよ、お互いに、いつか訪れてみたいと思ったのではないのでしょうか。

終盤には両校生徒会長より、交流の感想を述べました。糠内中の田村 葵さん、諸鈍中の盛那南亜（もり なみあ）さん、ともにしっかりと画面越しの相手に感じたことを伝えることができました。

最後に、両校の校長先生の講評で会が締めくくられました。糠内中の宗形 真恵校長先生、諸鈍中の赤池 夏樹校長先生の話の聞いていると、この日の交流は成功だったという実感がこみ上げてきました。第2回の冬の交流が待ち遠しくなる、あっという間の50分となりました。

講評にもあった「発信力」をのばしていくという点においては、日頃の学校生活から意識していければ更に深い交流ができるかもしれません。ただ、諸鈍中の先生からは、「糠内中の子どもたちは、ハキハキしていて素晴らしい」という言葉をいただいたことを励みに、更なる活躍を期待していきたいと思ひます。



# 学級通信交流

(つながる部会事業)

学園内の教職員がつながることを目的としています。お互いの学校や児童・生徒の様子、学級担任の考え等を知る機会として毎月実施しています。交流方法として、Google共有ドライブを活用し、通信の添付・感想の入力を行っています。

児童や学校の様子がよく伝わってきます。

明倫小

糠内小

糠内中